

問題一 次の傍線を施した漢字の読みを平仮名で示せ。

- A 商品が不足していますこと、こころからお詫び申し上げます。
B バス停では順序よく並ぼう。
C 友だちの遅刻を許した。
D 彼女は首を振って断った。
E 先生の心理は計りかねる。

問題二 A短歌、B俳句について説明した次の文章に適切な語句を漢字で記せ。

- A 五(①)五(①)(①)からなる。『万葉集』以降、現代まで継承されている。
B 明治の正岡子規などが提唱した。短歌と異なり、(②)を必要とする。

問題三 次の慣用語やことわざ等の意味を正しく述べているものを各組の中から選び記号で記せ。

- A あばたもえくぼ
1 あばたとえくぼが似ていないこと
2 アバターにえくぼがあること
3 好きなものに対しては欠点も長所にみえること
4 長所と短所が併存していること
B 馬の耳に念仏
1 馬を供養すること
2 忠告を聞き入れないこと
3 忠告を聞き入れること
4 仏教徒になること
C 河童の川流れ
1 河童と泳ぐこと
2 河童が舟を漕ぐこと
3 名人がしくじること
4 名人のあざやかな手さばきのこと
D 釈迦に説法
1 先生から教えをうける
2 先生を無視する
3 物知らぬものに教えを施す親切な行為
4 物知りに教えを施す愚かな行為
E 覆水盆に返らず
1 水を練り返し汲む行為
2 取り返しがつかない行為
3 後悔が先に立つこと
4 こぼした水が奇跡的に戻ること

問題四 次の空欄に入る適切な語句を次の語群から選んで記せ。

- A 揚げ【 】を取る。
B 【 】に銘じる。
C 【 】車に乗る。
D 寝【 】に水。
E 【 】が浮く。

【語群】 ①口 ②足 ③肝 ④歯 ⑤頭 ⑥耳 ⑦鼻 ⑧目

問題五 次の傍線部が助詞なら○を、そうでなければ×を記せ。

- ① 夜が明ける。
② すぐに出発しよう。
③ 雨があがれば、行こう。
④ 母の不安が的中した。
⑤ 妹にまで笑われた。

問題六 次の【I群】のA～Eと同じ構造の熟語を【II群】の①～⑤の中から選び、符号で答えよ。

- 【I群】 A 喫茶 B 雷鳴 C 不義 D 左右 E 良莠
【II群】 ①地震 ②未来 ③上下 ④悪人 ⑤飲酒

問題七 次の文章を読み、後の問に答えよ。

私は、犬については自信がある。いつの日か、かならず喰いつかれるであろうという自信である。私は、きつと噛まれるにちがいない。自信があるのである。よくぞ、きょうまで喰いつかれもせず無事に⑦過してきたものだと思議な気さえしているのである。諸君、犬は猛獣である。馬を斃し、たまさかには獅子と戦ってさえこれを①セイブクするとかいうではないか。さもめりなんと私はひとり淋しく首肯しているのだ。あの犬の、④鋭い牙を見るがよい。ただものではない。いまは、あのように街路で無心のふうを装い、とるに足らぬものごとくみずから卑下して、こみばこを覗きまわったりなどしてみせているが、もともと馬を斃すほどの猛獣である。いつなるとき、怒り狂い、その本性を②バクロするか、わかったものではない。犬はかならず③鎖に固くしばりつけておくべきである。少しの③ユダもあつてはならぬ。世の多くの飼い主は、みずから恐ろしき猛獣を養い、これに日々わすかの残飯を与えているという理由だけにて、まったくA「の猛獣に心をゆるし、エスやエスやなど、気楽に呼んで、さながら④カゾクの一員のごとく身辺に近づかしめ、三歳のわが愛子をして、その猛獣の耳をぐいと引っぱらせて大笑いしている図にいたつては、戦慄、眼を蓋わざるを得ないのである。不意に、わんといつて喰いついたら、どうする気だろう。気をつけなければならぬ。飼い主でさえ、噛みつかれぬとは保証できがたい猛獣を、(飼い主だから、絶対に喰いつかれぬということは⑤愚かな気のいい迷信にすぎない。あの恐ろしい牙のある以上、かならず噛む。けつして噛まないということは、科学的に⑥シヨウメイ)できるはずはないのである)その猛獣を、④放し飼いにして、往來を【B】徘徊させておくとは、どんなものであろうか。

問一 傍線部①～⑤のカタカナを漢字に改めよ。

問二 傍線部⑦～⑧の漢字の読みを平仮名で示せ。

問三 傍線Aに「この猛獣に心をゆるし」しているとあるが、世の多くの飼い主が、犬に「心をゆるし」している理由に該当する部分を本文から一七字で抜き出せ。

問四 【B】には「徘徊」と同様の意味が入る。適切なものを次の語句から選べ。

ア うろうろ イ ばたばた ウ どしどし エ おどおど オ ずかずか

問五 この文章の作者の代表作に「走れメロス」がある。この作者名を次の記号から選べ。

ア 芥川龍之介 イ 森鷗外 ウ 田山花袋
エ 太宰治 オ 中島敦

